

いわみ 議会だより



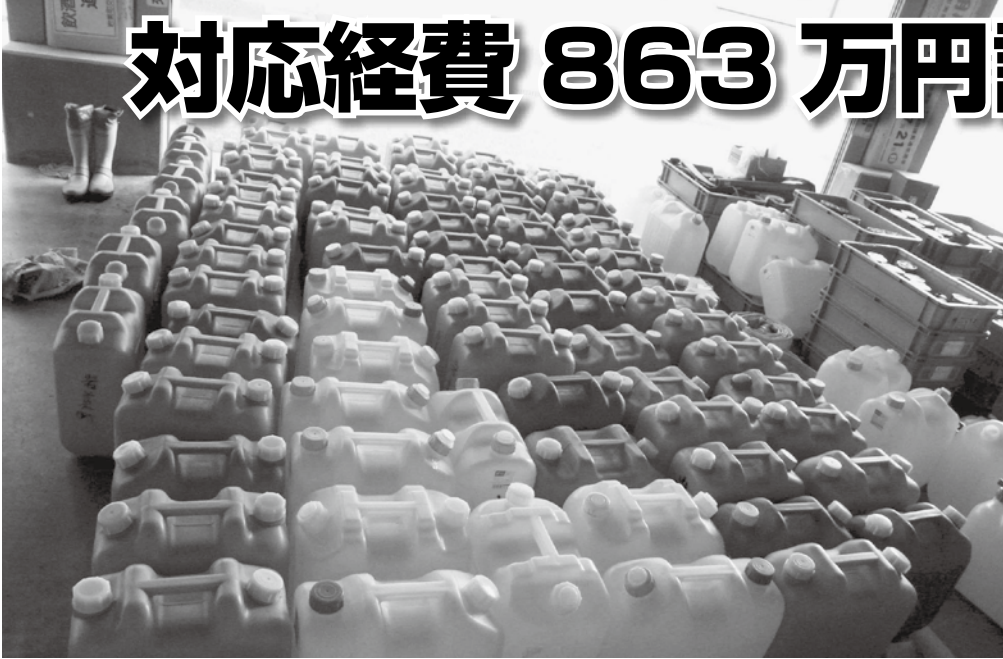
成人式を盛り上げた
実行委員のみなさん

12月定例会

- 2 水道濁水事故2度発生
- 4 一般質問 ただ 6議員が町政を質す
- 10 前号の訂正とお詫び
- 11 総務教育
産業福祉 常任委員会行政調査報告
- 14 成人式の実行委員の皆さんに聞きました

水道濁水事故2度発生

対応経費 863 万円計上



給水の時に使用したポリタンク

12月定例会を、12月17日から19日まで3日間の会期で開きました。
 一般会計補正予算など追加議案を含む14議案を、町長提案通り全会一致で可決しました。

主な議案の概要・質疑

水道濁水事故に伴う経費

863万円

■内訳

一般会計 763万円

業者委託など応急給水経費 174万円

水道基本料金減免経費 171万円

集落排水基本料金減免経費 38万円

公共下水道基本料金減免経費 147万円

職員時間外手当 197万円

水道会計 100万円

配水池清掃経費など 100万円

一般会計補正予算
 2億7471万円を減額し、予算総額を66億2330万円としました。

歳出の主なもの

防災行政無線デジタル化事業費の減額 2億9544万円
 工事発注により、当初予算より大きな差額が生じたため。

有害鳥獣駆除事業費の増額

126万円

◆質疑

問 有害鳥獣駆除事業は以前、当初予算の範囲内で打ち切りだったが、今回の補正の内容はどうか。

答 有害鳥獣は鹿、イノシシ、ヌートリア、アライグマで捕獲奨励金を支払っている。
 10月までの実績が昨年の197頭に対し316頭と増えている。
 今後の捕獲数増を見込んで増額している。

鹿の被害が増えていることから、鹿の捕獲には国の100パーセント補助で8千円上乘せしており、これを含めて今回の増額補正をお願いしている。

国の要請による給与削減措置に伴う職員人件費の減額

3353万円

■内訳

給料 2215万円
 職員手当 576万円
 共済費 560万円

ふるさと納税の増による増額

記念品送付経費 195万円

新年のごあいさつ



議長 津村 忠彦

町民の皆さま、明けましておめでとございます。

輝かしい新春の幕開けを迎えるにあたり、

議会を代表してごあいさつを申し上げます。

昨年の11月、町民の大きな期待を受けて、榎本町長が当選を果たされました。

榎本町長には、これまで培ってこられた豊富な経験と卓越した行政手腕で、時代の潮流を的確に見据えながら、さまざまな課題に適切に対応され、町民の生活の向上と岩美町の発展のために、さらなるご活躍を期待します。

地方分権の推進が年々強まる中、議会の使命、責任はますます重大となってきました。

議員は住民の代表であり、議会は地方公共団体の意思決定機関であることをしっかりと認識して、その役割と責任

を果たすよう、決意を新たにしているところであります。

今年7月は、町議会議員の改選があります。

4年前の改選は、町制初の無投票となり、多くの有権者から強い不満の声を聞きました。

そこで、改選後初の9月定例議会において、無投票の阻止と、さらなる議会の活性化をめざして議会改革調査特別委員会を措置し、鋭意改革に取り組んで参りました。

特に、議員定数と報酬の件は住民のご意見を拝聴したり、先進地調査の実施など、慎重な協議を重ね、改選1年前の昨年6月定例議会で、「議員定数と報酬は現状維持」とする結論に至りました。

町民の皆さまには、議会に対し一層の関心を深めていただきたいと思います。

引き続き皆さまのご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして良い年となりますことを祈念して、新年のあいさつといたします。

ふるさと岩美まちづくり基金

430万円

ふるさと納税額が、昨年度の約5倍の875万円になるため。

東部森林組合出資金の増額

345万円

東部管内の林業振興のため、東部森林組合の資本整備と経営基盤強化のため増資するもの。

損害賠償金

125万円

太田工業団地造成事業に起因する損害賠償請求事件を、裁判上の和解で決着する和解金。

法人町民税の減額

584万円

景気低迷により見込まれる大幅な減額を計上し、予算額を2956万円とするもの。

◆質疑

問 12月補正に計上するのは基準があつてか、影響が大きいからか。3月の見通しはどうか。

答 法人町民税は各法人の決算時期に合わせて申告、納付していただくもので、決算時期は各法人によって異なる。今回見通しがたったので、年度末までの見込みを計上した。

財産収入の増額

385万円

(株)鳥取林業サービスが役割を終えた

として解散したことに伴う、残余財産の清算による配当金40万円、出資金の返還金345万円。

防災行政無線のデジタル化工事の請負変更契約(増額)

2650万円

電波の弱いスポットがあることがわかった田後、荒金に再送信子局を設置。屋外拡声子局のうち6局について放送伝達範囲拡大のためスピーカーを追加など。

裁判上の和解

町が田中清一氏などに対し、看板などの撤去を求めていた裁判で、2審の高裁が10月に和解案を提示した後、被告が看板及び石碑の一部を撤去したことを受け、高裁が新たな和解案を提示。当初に撤去を求めていた看板などが撤去されたことから、損害賠償請求を取り下げ和解に応じることにした。

人事

監査委員

田中 展昌(池谷)

教育委員会委員

小谷 節子(浦富)

(敬称略)

新規創業・開業支援事業 補助金事業者の経営にも 目配りせよ

日出嶋香代子議員

制度上経営指導まで 立ちいれない

榎本町長



日出嶋香代子 議員

日出嶋 町が21年度に始めた新規創業・開業支援事業補助金を受けた事業者が2年余りで経営破たんした。
どう考えているか。

町長 新規の創業事業者を支援する制度であるが短期間に事業を挫折されたことは、残念だと思っている。

日出嶋 23年9月に質問したが、その後の経過と現在の状況は。

操業後は、商工会などが経営の身について相談を受けながら指導をしていくことになっている。

日出嶋 町は立ち入って指導ができないというところだが、町の対応に疑問を持っている。

町長 融資であると、金融機関が絡んだりして、投資資金の回収が伴うが、補助金は違法な行為がない限り、回収することとはできない。
制度の違いをご理解いただきたい。

日出嶋 町として補助金交付の決定や審査は、十分慎重にする必要がある。
どのような対応策を考えているか。

町長 補助制度は使い勝手が良いものにならなければならず、難しい面がある。
新しく町で取り組む制度は、商工会や県の外郭団体などの知恵をかり、検証する仕組みが必要だと思う。

町長 事業の失敗に対して町は立ちいれない。
貸付金ではなく開設を支援する制度であり、一定期間創業されたという事実を確認している。
事業の破たんという部分には立ちいれない。

日出嶋 補助金の交付要綱で認定され交付されたと思うが、操業経過など交付後の目配りが重要と思うがどうか。

町長 新規創業・開業支援事業審査委員会が交付決定されたものであり、要綱に沿っているかを、確認するにどうまらざるを得ない。
経営の内容に立ち入って指導はできない。



ブルーライン田後



振興物産(株)

この制度を使い操業している業者

- 新規創業・開業支援事業補助金**
- 地域経済の活性化と雇用創出を図るため、岩美町内で新たに創業・開業を行う方を支援するための補助金。
- 操業中の制度の利用業者
- ブルーライン田後
 - 振興物産(株)

がん検診無料クーポン券の拡充を 図れ

芝岡みどり議員

乳がん、子宮頸がんを継続し、
胃がんにも対応したい

榎本町長



芝岡みどり 議員

芝岡 21年度から始まった乳がん・子宮頸がんの検診無料クーポン券は、受診率向上に大きな効果を上げている。

厚生労働省は、来年度から対象年齢を絞り込み、縮小しようとしている。

本町の来年度以降の取り組みについて伺う。

町長 新年度予算に向け議会ともよく相談しながら、25年度と同じ対応を26年度においてもお願いしたいと思っている。

本町も積極的にがん教育を実施すべきだ。

教育長 現在、小学校では6年生、中学校では3年生の保健体育で指導するよう定めている。いずれも発達段階を踏まえながら、がんについて学んでいる。

また、県の事業でがん検診の大切さを医師から直接学ぶ講師派遣制度を検討したいと考えている。

本町の役場女性管理職の登用率は

芝岡みどり議員

36パーセントになっている

榎本町長

芝岡 本年4月より男女共同参画推進条例が施行され、男女共同参画のまちづくりへの取り組みが大きく前進すると期待している。

この計画の取り組み状況を伺う。

町長 現在、町のホームページに男女共同参画計画・条例と、男女共同参画にかかわる勉強会などを掲載している。

町長 25年度の管理職課長級16名中、女性職員は5名、また課長相当職6名中、3名。

合計22名中8名であり、36・36パーセントとなっている。

芝岡 次に、各種審議会、委員会への女性登用率を尋ねる。

町長 16審議会が該当し定数192名中、50名が女性委員であり26パーセントである。

また、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会、人権擁護委員会の6委員会では、定数39名中、11名が女性委員で28・2パーセントである。



女性議員研修会の様子

総務課長 人権教育講座、文化センターを利用した研修会、各地区の公民館での研修を実施している。

また、県外研修の日本女性会議への参加も続けている。

芝岡 国は日本経済を活性化させるために女性の活躍は不可欠と強調し、経済政策の成長戦略にも位置づけられている。

本町の役場職員の女性管理職の割合を尋ねる。

鳥取県の地方公務員管理職に占める女性の割合(24年度)
546名中58名
(10・6パーセント)

アニメ「Free!」のPRに 取り組み

田中伸吾議員

制作会社との協調を大切に 町を売り込みたい

榎本町長



田中 伸吾 議員

田中 今夏、放映されたアニメ「Free!」には、本町の町並みや風景

が取り上げられ、ロケ地巡り・聖地巡礼と称して特に若い女性が来町されている。

放映当初、制作会社との間で宣伝などの制限があったか。

町長 アニメの中の岩鷲町は、本町とは関係ないとされ、町や観光協会として、お客さんと呼び込むことはできない。

町が「アニメを応援しています」ということを公表してはならない。

田中 現在、観光協会でも観光マップやご当地グッズの販売もされ、制限が緩和されてきたと思う。今後、町内の宿泊施設や飲食業の方と連携をし、どう発信していくのか。

町長 制作会社と協議して可能な限り情報発信に取り組み、グッズ製作会社に手数料を払ってグッズも製作していきたい。

こうした現象は、一過性になりがちだと思うが、ツイッターやブログなどの新しいツールを使い、制作会社との協調を大切にし、町をしっかりと売り込んでいきたい。

田中 町民に「Free!」を認知してもらうPRに取り組み。



聖地巡礼で訪れた女性ファン

商工観光課長 多くの町民の方に丁寧な対応をして頂いており、そのことで複数回来ていただいている。

さらに、ファンとの交流が進むよう、観光協会とともに、DVDの販売や視聴の機会が作れればと考えている。

土曜日授業の実施どうする

田中伸吾議員

26年度は実施しない

寺西教育長

田中 学校週5日制が14年から実施されているが、土曜日授業の実施は、各市町村の判断と位置づけられている。

本町は、今後どう取り組むのか。

教育長 11月の学校教育法施行規則改正で、市町村で判断できるように

なったが、社会のシステムが変わらない中、学校だけが変わるには、十分な検討が必要であり、26年度の導入はしない。

今後検討するが、町だけが導入をすると、町外のスポーツ大会や文化活動への参加が困難になる。

少なくとも東部地域などと連携をして進めなければと考えている。

オリジナルナンバープレートを 製作せよ

田中伸吾議員

検証・検討したい

榎本町長

田中 12月現在、町発行のナンバープレートは、全車で、1230台だが、町に愛着を持ち、住みたい、訪れたいと思うような魅力あるまちづくりのため、オリジナルナンバープレートを交付してほしい。

町長 これまで、県内外で話題がでるたびに、検討はしてきたが、PR効果やコストの問題で躊躇している。

国道などを走る際のアピールも多分に考えられるが、他町の様子も検証し、検討したい。

「Free!」現象を次につながる 行動のチャンスに

田中克美議員

この機をとらえていく必要がある ある

榎本町長



田中 克美 議員

田中 アニメ「Free!」現象がおきているが、岩美の何が彼らをリピーターにしているのか。

町長 本町に来て、出会う人たちとの触れ合いがリピーターにつながる。リピーターをふやすためには、全町民が温かく声をかけて、さまざまなコミュニケーションを働かせることが一番求められる。

田中 リピーターの方々の声や思いや発見したことをしっかりとつかむとい

う作業をやるべきだ。

町長 一人一人の全国のアニメファンがツイッターとかブログによって、情報交換が瞬時に行き渡る中で起きている。観光協会と町がしっかりとかわって分析をする必要がある。

田中 彼らはもうすでに観光PR媒体者を実践している。

もっと効果的にPRするため、いろんなアイデアを集めて実行、着手に踏み出すべき。

商工観光課長 「Free!」を通して岩美町と出合えて本当によかったと、本町のよさをさらに町民の方と一緒にPRしていきたいと思っ

田中 役場と観光協会がそれぞれの役割をはっきりさせて、連携をとって進めていくべきだ。今後の方向をどう考えているのか。

町長 お互いに一本立ちし、より緊密な連携をとっていくことが、これからの町の観光振興ということの中では、非常に重要だと思っている。

田中 「Free!」現象と道の駅整備に取り組んでいる今、9次総の観光と産業振興の見直し作業を進めることを提案したい。

町長 見直しについては、策定委員会とも相談をし、今回については計画の部分尊重しながら進めたい。



コスプレ大会（11月17日田後港）

田中 生活保護基準の引き下げによって町民にどのような影響が出てくるのか。

町長 この基準を改定したことに伴って、これが原因で廃止になるようなケースはない。

今後、保護をする必要がある世帯がこの基準の引き下げに伴って、影響が生じないように、適切な町独自の対応も必要。

田中 住民税非課税限度額は21制度が該当するが、これについての具体的な影響はあるか。

町長 生活扶助基準の見直しに伴い、他制度への生じる影響について、「町長が認めた場合は」の規定を活用するなど、後退しないよう対応する。

生活保護基準の引き下げの影響は

田中克美議員

現状から後退させないようにする

榎本町長

田中 国の地方への財源措置は明らかではないが、国の措置を求めるべきだ。

町長 町村会を通じて財源の保障確保を求めるよう取り組んでいきたい。

道の駅の基本構想とは

松井俊明議員

農海産物、加工品の販売、情報発信、災害基地をあわせ持つ機能

榎本町長



松井 俊明 議員

松井 道の駅の開業まで一年3ヶ月ほどになりました。どのような構想のもと、何をメインに進めていくつもりか。

町長 道の駅は、地場産業に責任をもつ方々と相談して進めるものだと考えている。

中心は何かということだが、地元の農産物、海産物、そしてそれらを素材とした加工品が買える道の駅にしなければと考えている。

観光振興の情報発信の拠点、大規模災害時の基地についても設立協議会で議論している。

松井 道の駅を活性化させる方法は考えているか。

町長 道の駅の活性化にとどまらず、道の駅をつくることで町を活性化させたい。

小規模な生産者でも生産者の顔が見える販売所となれば、地域が活性化していくと思う。

松井 「責任のない人が意見を述べられるだけなら意味がない」との発言が設立協議会であったようだがどうか。

利害関係のない人からの意見も集約して、検討してはどうか。
一般市民の方を加える気持ちはあるか。

町長 その発言については承知していない。
設立協議会には、方向性を決めていただく、アドバイスをいただく。
年内にも会議の予定があるので、ぜひ出席していただきたい。

松井 公募で採用した駅長には、どの程度の権限の中で仕事をしてもらうのか。

町長 運営に当たり、駅長自身が動きやすいようにとの配慮から、協議会を設立する時点から意見をとり入れることができよう参加させている。
駅長が全ての権限を

もっているのではない。
運営についても、組織の中で、相談しながらの駅長である。



道の駅「瑞穂」の直売所

役場前の県道整備を急げ

河下 哲志 議員

県に強く要望する

広谷 産業建設課長



河下 哲志 議員

河下 役場前の県道は本町のメイン道路と思うが、整備を急げ。

町長 都市計画道路として整備しているが、具体的に整備計画の変更がでている。

産業建設課長 岩美道路の道竹城トンネル工事が27年3月の供用に向けて工事が進められている。それに合わせて、役場前の道路の拡幅、整備を県に強く要望している。

河下 役場周辺の看板が、わかりにくいし、縦

書きだ。

現在は横書きが主で、英語やハングルと合せて標記する場合が多いと思うが、どうか。

産業建設課長 道路案内

標識は、一定の基準を決め、わかりやすくしたい。岩美道路浦富インターの供用開始に合わせて、案内標識の見直しを県に要望する。

河下 積雪時に子ども達が歩いて通れないとの声を聞く。

今、「Free」効果で、自転車で通る若者をよく見る。自転車道、歩道、街路樹などの提案はできないか。

産業建設課長 国道9号

から海岸に突き当たるまで、都市計画街路という

ことで、全幅16メートルで計画されている。

これは、自転車の通行も考えての計画となっている。

街路樹などの整備も検討するよう、県に提案する。

文化事業の一体化を図れ

河下 哲志 議員

良い方法を相談したい

榎本 町長

河下 12月8日、第27回いわみ音楽祭が開催された。

今回は裏方スタッフがたくさん参加し、役場、

市民団体、出演者の3者が一体化していると感じた。

これこそ協働の事業と実感したが、町長はどう感じたか。

町長 運営は、協働の模範例ができたと思っている。

河下 いわみふるさと音楽堂の管理運営、事業計画などは、どう進めるか。

町長 当面、町が中心となるが、音楽、郷土芸能など関係団体と、幅広く相談しながら進める。

河下 いわみ音楽祭、いわみふるさと音楽堂、岩美現代美術展などの文化事業を一体化して進めるべきだ。

町長 文化事業のマネジメントに苦慮している。良い方法を相談したい。

河下 中央公民館を、建て替える考えはないか。

町長 基金を積み立てるなど準備をして、町のシンボル、文化の拠点として皆さんと検討したい。



いわみ音楽祭（中央公民館）

一般質問の 範囲を確認

12月定例会から実施

11月21日全員協議会を開催し、一般質問の範囲について協議した。

以前から、一般質問で国政問題を質問することは適切でないとの意見が町民、議員の中から出ていた。

一般質問の範囲について会議規則第61条は、「議員は、岩美町の一般事務について、議長の許可を得て、質問することができる。」と規定している。

議会運営委員会では、一般質問の範囲について、国政問題が町の一般事務に当たるかどうかが議論した。

その際、全国町村議会議長会にも問い合わせたところ、「国政問題の中で、町行政、町民に対して直接影響のある質問は想定内だが、国の政策の可否については想定していない。」との見解が示された。

議運はこの見解に基づき、国政問題は町行政、町民に直接影響のある事項だけは町の一般事務に当たり、質問することができるとを決定した。

全員協議会へこのことを提案し、7名の議員が賛成し、12月定例会から実施することを確認した。

請願・陳情審査結果

| 件名 | 結果 | 賛否の状況 | 不採択理由 |
|---|-----|-------|--|
| 県道155号線網代港岩美停車場線田後地内における道路改良の早期実現について 岩美町大字田後159 田後地区自治会長 山本達雄 紹介議員 船木祥一議員 | 採 択 | 全会一致 | |
| 消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する陳情 倉吉市東巖城町36-4 鳥取朝日会 会長小椋和彦ほか5名 | 不採択 | 全会一致 | 消費税の複数税率導入に伴う議論は、国で議論されているところであり、その対象品目の選定など国民的理解が得られる合理的な線引きが必要となる。 現時点では、特定の品目について軽減税率の導入を支持することは適切でない。 |
| 「合特法」に基づく「代替業務」の陳情について 岩美町大字高山62番地1 協同組合岩美町環境事業公社 理事長 田中清一ほか2名 | 不採択 | 全会一致 | 陳情者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、一般廃棄物収集運搬業の許可の取り消し及び一般廃棄物収集運搬業の許可を受けていない者であり、合特法に規定する業者に該当しない。 |
| 「合理化事業計画」の策定についての陳情書 岩美町大字高山62番地1 協同組合岩美町環境事業公社 理事長 田中清一ほか2名 | 不採択 | 全会一致 | 同上 |
| し尿収集運搬料金の改定について(陳情) 岩美町大字高山62番地1 協同組合岩美町環境事業公社 理事長 田中清一ほか2名 | 不採択 | 全会一致 | 陳情者は岩美町においてし尿収集運搬の許可を受けていない。 |

訂正とお詫び

議会だよりの前号(117号)5ページ病院事業会計の掲載記事が間違っていたので、全文を訂正してお詫び申し上げます。

病院事業会計

8パーセントになれば5800万円となり、病院の利益が消えてしまう。

問 消費税増税による控除外消費税(損税)の増加及び今後の地方交付税への対応は。

この問題は病院に共通するので、抜本的な対策を行うように国に要望している。

答 消費税率5パーセントを患者に転嫁できない損税が3600万円余ある。

病院では、地方交付税は年次の下がると想定し、交付税に頼った経営にならないよう取り組んでいる。

常任委員会行政調査

総務教育常任委員会

次回アジア太平洋ジオパーク ネットワークシンポジウム調査

調査日 25年9月11日
調査先 韓国 濟州島

27年山陰海岸ジオパークで開催される、アジア太平洋ネットワークシンポジウムの成功に向け、韓国濟州島で開催された第3回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム開催を調査した。

調査の概要
① 濟州島の概要
濟州島は韓半島の最南端に位置する島で、およそ100万年前の溶岩噴出によって誕生した火山島である。

年間約500万人の観光客が訪れる韓国で、人気ナンバーワンリゾートである。
多様な火山地形と地質資源を有し、島全体がジオパークである。

② 濟州シンポジウム概要

大会名 第3回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム

日程 公式プログラム
9月9日(月)～
9月11日(水)

会場 韓国濟州市濟州KALホテル

主催 濟州特別自治道、APGN運営委員会

参加者 560名(25ヶ国)

山陰ジオパークからの参加者

岩美町長・岩美町議会総務教育常任委員会・香美町長・新温泉町長・豊岡高校生徒10名・事務局・各県各市町村担当者等総勢46名

③ 大会日程

9月9日(月)

開会式・総会講演Ⅰ・セッション・新GGNメンバーセレモニー

9月10日(火)

開会中ツアー

9月11日(水)

総会講演Ⅱ・セッション
閉会式

閉会式は午後6時から行われ、最初に地元の民族ダンスが披露され、その後、濟州島宣言が採択された。
榎本町長、津村議長がステージに登壇し、町長が地元組織委員長から大会旗を引き継ぎ、次回開催地を代表してあいさつを行い、次回の開催を誓いあった。



閉会式で登壇の町長・議長

27年開催に向けて

シンポジウム会場は、ホテルを貸切り、宿泊とシンポジウムが一体となった運営をしていたので、参加者にとっては非常に分かりやすく利便性が高いと感じた。

第4回は、山陰海岸ジオパークでの開催が決定している。

本町としては、セッション(分科会)で地元代表者の発表や、シンポジウムツアーで、本町のジオサイトを多くの参加者に見学していただき、

本町単独の展示ブースを確保し、本町の魅力を発信していくことなどが考えられる。

そのためにも、事前に関係機関と協議し取り組む必要がある。

シンポジウムの総会講演や、濟州島宣言で一貫していたのは、地元住民、科学者、観光事業者、地方自治体、中央政府や他の利害関係者との密接な連携、また、アジア太平洋地域での世界ジオパーク加盟団体間のネットワーク活動を向上させることの重要性であった。



山陰海岸ジオパーク展示ブース

常任委員会行政調査

産業福祉常任委員会

道の駅の先進的事例調査

調査日 25年10月7～9日

目的

町民に対しても、2年後にシンポジウムが、山陰海岸ジオパークエリアで開催されることの周知及び開催歓迎ムードの助長を、今から始める必要があると考える。

また、シンポジウム期間中、シンポジウムツアーなどで本町に参加者が多く訪れることが想像できる。案内板、看板などの点検を早急に行い、外国人に対しての配慮を早々に対応すべきである。

外国人にも対応できるボランティアガイドの養成は難しいが、早急に進めなければならぬ。

このようなことを推進していくことが、来年の再審査に向けての町民のジオパークに対する機運の盛り上がりにも繋がるので、執行部に対し一層の努力を望む。

目的

国土交通省の管轄の道の駅の機能は、休憩、情報発信、地域の連携の3つとされている。特に地域との連携機能が重要な役割を果たすようになってきた。

また、大震災後、防災拠点として機能を発揮し、道の駅の新たな可能性を示した。

本町も昨年5月に道の駅設立協議会が設立され、10月に全国公募の駅長が就任し、27年4月の開駅をめざしている。

議会としても、先進的な取り組みをしている道の駅を調査、研究し、議会の役割をしっかりと認識すること、適切に行動することの必要性を痛感した。

(1)道の駅「湖畔の里福富」 (広島県東広島市福富町)

調査日 25年10月7日

調査の概要

福富町(人口3000人)の住民団体である「道の駅 湖畔の里福富運営協議会」が、東広島市(人口約18万人)の指定管理者として20年9月に開業した。

県営福富ダム(しゃくなげ湖)の建設により、住宅、農地が水没するため、関係住民の生活安定、福祉の向上を図る目的で整備された。

敷地面積は東京ドームの1.8倍の広さがあり、年間利用者数、約32万人、全店舗の年間売上高は、

(2)道の駅「瑞穂」 (島根県邑智郡邑南町)

調査日 25年10月8日

調査の概要

約2億2000万円。現在、東広島市の観光スポットとしてはナンバードンの利用者数を誇っている。

邑南町(人口1万1700人)は、山林率80パーセントの典型的な中山間地域である。

広島市から75キロメートルと近く、中国横断道により、都市部との隣接

性、利便性や地域の特徴を生かした連携、交流を図ることによって、地域振興の相乗効果が期待できる。

合併前の瑞穂町では、余剰農産物の無人直売所を開設し、個人や小グループによって運営していた。10数年の実績を積み、16年、正組合員148人と準組合員37人で「瑞穂産直市組合」を設立。駅構内に「産直市みずほ」を開店した。産直市と道の駅の特産品販売所が隣接していることから、関係機関も交えた協議を行い、「瑞穂産直市組合」が道の駅の指定管理者となつて、一体的に管理運営することで相乗効果を発揮させ、地域振興に貢献する方向になった。

24年度の売上高は2億2600万円、組合員は449人となった。

安全・安心を担保した農産物の提供と町内産のアピール、さらなる固定客の増加をめざして、平成22年度から検討してきた。



駅長から説明を受けている様子

常任委員会行政調査



生産者の顔が見える「産直市みずほ」

た生産履歴開示システム（トレーサビリティ）の導入を、県及び邑南町の補助、指導により、25年6月から試験運用、12月本格運用を行うことになった。

また、25年4月から品質管理委員会を発足させ、出荷品の品質に対してのチェック機能を整備した。

(3)道の駅「秋しーまーと」(山口県萩市)

調査日
25年10月9日

調査の概要

萩市(人口5万4000人)は、日本海側に面し、伝統工芸品「萩焼」を有し、年間150万人前後の観光客数を維持している。

主要産業は、農林水産業と観光業である。

12年、漁協、水産業者等により組織された協同組合が設置され、民設民営の道の駅「秋しーまーと」の開設が決定した。

同年、全国から駅長を公募し、滋賀県出身で近江商人の経営哲学「三方良し」の精神を受け継ぐ現駅長の中澤さかな氏が採用された。

中澤駅長は市場分析を進める中で、移ろいやすい観光客ではなく、地域住民のための道の駅という当時としては珍しい方向性を打ち出した。

13年4月、農水省、山口県そして萩市の補助金を活用し、開設した。

駅舎内は公設市場型のため、利用者は集中レジではなく店舗ごとに会計を行う。旬の食材や様々な調理方法の提案など、販売店と利用者のコミュニケーションが絶えない。

活発に交わされる会話は駅に活気を生み、販売店にとっては利用者のニーズを把握し、時勢に

合わせた商品構成に効果を発揮している。

年商10億円。「道の駅」という意識はなく、水産業を元気にする複合施設だという認識である。

経営理念は「三方良し」で、お客様優先でなく、売り手、買い手、世間良しで、それぞれが少しずつ得をするよう心掛けている。

また、「無理をしない」従業員に「がんばれ」と言わない。持続可能を重視している。

基本的な事業設計(建物でなく中身)が、綿密なマーケティング手法によって構築されていることが成功の大きな要因となっている。

「道の駅」ブームは終わった。マーケティングとマーケティング(商品製作)をしっかりするのが重要だ。

また、他と比べて勝っているのは広報だ。ものすごい情報発信をしている。

(4)岩美町として学ぶ点や検討すべき事がらなど

観光客を来客の対象とせず、地元及び近隣からの来客を対象にすること

で「道の駅」あるいは産直市としての実績を上げている先進地を視察研修した。

立上げの経過や管理運営の形態はそれぞれ異なる3先進地であるが、道の駅として収益を上げることを第一の目標にするのではなく、地元の第1次産業及び地元産品を生かした加工品など第2次産業の振興にどう貢献していくかを基本姿勢として貫いているのは、学ぶべき点である。

瑞穂の産直市でも萩の道の駅でも、開設までの取り組みにおいて現在の生産者・出荷者が取り組みの担い手として活動してきている。

この苦勞を岩美でも積み重ねることが成功にとって不可欠である。開設までの日時が少ないことからこの点の努力、取り組みを省略することに

なっていない。

常任委員会の議論でも、成功に不可欠の努力をつくすための時間が必要ならば現在予定している開駅が1年遅れてもいい、というぐらいの構えで向かうことも大事だと意見が出ていたところである。

行政と道の駅との関係、道の駅と販売所の関係及び駅長の役割と権限等々を検討し実行に着手することが急がれる。

道の駅整備事業に関して、議会とリわけ産業福祉常任委員会は、行政のチェック機能を発揮することにとまらず、前述した検討課題の推進のために何ができるか、何をなすべきかを認識し、岩美町の産業振興と地域活性化の一翼を担う立場を自覚して、関係の方々とも協力していきたい。

成人式の実行委員の皆さんに

聞きました

20歳の感想は

- *これまで親や先生に心配かけた分、20歳になった今一人立ちし、一つ一つの行動に自覚を持ち、恩返しができるように一生懸命頑張っています。
- *早く感じた。
- *大人の階段のぼった気分。まだ19歳だけど、とりあえず20歳も楽しむ。
- *いろいろな危機を感じる。
- *中学生の時は20歳は大人だと思っていた。いざなると、こんなものかって感じ。
- *成人式をして20歳になったんだと実感しました。
- *成人の自覚を持ってこれから楽しみたいです。



今頑張っていることは

- *仕事です。大工をやっているのですが、とてもやりがいのある仕事です。これからのいろいろな覚えて一人前の大工になりたいです。
- *学校
- *タイエット、仕事、あそびごと。
- *国家試験に向けての勉強。
- *県外に住んでいるので美容業界でがんばる。
- *ちゃんと早起きできるように頑張っています。

今後(今年)チャレンジしてみたいことは

- *仕事に関する資格を取り、いろいろなことが出来るようになることです。
- *資格を取りたい。
- *死ぬまでに外国に行つてオーロラを見ること!!
- *子づくり
- *20歳になったので、毎日遅くまで遊んだりせず、正しい生活リズムで生活していきたい。

岩美の好きなところは

- *やっぱり海です。今やシオパークにもなっているのですごくいいと思います。
- *大きい町じゃないのでそこがいい。
- *海
- *きれいな海



- *海、人、雰囲気
- *岩美の人はみんないい人だと思う。
- *成人式や同窓会で改めて岩美の人は仲がいいと思いました。



編集後記

待ち望んでいた駒山バイパスが、いよいよ3月に開通します。駒山バイパスは、鳥取豊岡宮津自動車道の一部です。岩美道路も開通に向けて、着々と工事が進められています。鳥取豊岡宮津自動車道の完成により、人とモノの流れが本町に向かうことを期待します。本町では、道の駅開設に向けて準備が進められています。議会も町民のみならず、まと一緒に、本町飛躍の年としていきたいです。

議会だより調査特別委員会委員

| | |
|------|-------|
| 議長 | 津村 忠彦 |
| 副議長 | 船木 祥一 |
| 委員長 | 芝岡みどり |
| 副委員長 | 田中 克美 |
| 委員 | 柳 正敏 |
| 委員 | 竹中 一浩 |
| 委員 | 澤 治樹 |
| 委員 | 松井 俊明 |
| 委員 | 河下 哲志 |
| 委員 | 田中 伸吾 |